

『 在来作物の継承、今後の食育・6次産業化 』

主催：静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）

共催：新産業開発振興機構、静岡県農業高等学校校長会

今回は、静岡農業高校を会場に、大学研究者、企業、高校関係者が講演や発表を行います。講演者や発表者等と交流を持ち、今後の企業活動等に活かしていただければ幸いです。尚、今回はハイブリッド（会場聴講とオンライン聴講）講演会とさせていただきます。多数の方のご参加をお待ちしております。

開催日時 2022年1月21日（金） 講演会 16:00～17:50

方法 会場聴講：静岡県立静岡農業高等学校 5階 視聴覚室

オンライン：参加申し込み者に Zoom 参加のアドレス、パスコードをご連絡いたします

研究発表 『 「かつぶし芋」の秘めた魅力に迫る ～在来作物を後世へ～ 』

静岡県立静岡農業高等学校 生物工学部

企業発表 『 地域連携による食育の可能性 』

株式会社ヤタロー フードビジネス事業部 スーパーバイザー 川合 真莉 氏

講演 『 6次産業化の現状とこれから 』

静岡県立農林環境専門職大学 生産環境経営学部 教授 前田 節子 氏

*会場参加者には（株）ヤタロー様の商品のお土産がございます。

参加料 無料

定員 会場聴講 60名 オンライン聴講 100名（Zoom ウェビナーを利用いたします）

申込方法 下記申込書に記入してFax、E-mailで申し込み下さい。

*オンライン聴講の場合は必ずメールアドレスをご記入下さい。

事務局 静岡商工会議所 産業振興課（担当：岸端、堀川）

TEL:054-355-5400 FAX:054-352-7817 E-mail:info@siip.jp



本会には、宝くじ
収益金の一部が
使用されています

※申込書にご記入いただいた情報は、静岡商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますことをご了承下さい。

第137回「移動産学官交流」講演会（静岡農業高校）参加申込書

2022年1月21日（金）開催

Fax 054-352-7817

事業所名			
TEL			FAX
参加者	氏名	所属・役職	
	※参加項目にレ点を付けてください <input type="checkbox"/> 会場聴講 <input type="checkbox"/> オンライン聴講(メールアドレス: _____)		

※申込書にご記入いただいた情報は、当日名簿として利用するほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますのでご了承ください。又、今後の『産学官交流会』のご案内を送付させていただきます。（原則e-mail 案内とさせていただきます。）

研究発表：『「かつぶし芋」の秘めた魅力に迫る ～在来作物を後世へ～』

静岡県立静岡農業高等学校 生物工学部

私達は静岡市駿河区大谷の在来種の里芋「かつぶし芋」を保護し、次世代へと繋ぐ活動を行なってきました。今年度は地域の遺伝資源を守ることを目指し静岡市の「種子・植物バンク」を開設しました。大谷の「かつぶし芋」、井川の「緑小豆」、「白小豆」、「井川大ビル」、梅ヶ島の「すじなし豆」等の市内の在来作物を栽培し、圃場展示を行ない、珍しくなってしまった在来作物を見学できる場所を作りました。また、植物組織培養による試験管内での保存に挑戦しました。さらに次世代へ地域の在来作物を伝えるために、園児への年間を通した食育に取り組み、年長児28名と共に「かつぶし芋」の栽培をし、園の給食の食材として活用していただきました。



企業発表：『地域連携による食育の可能性』

株式会社ヤタロー フードビジネス事業部 スーパーバイザー 川合 真莉 氏

株式会社ヤタローは、浜松市に本社を置く創業88周年の企業です。小さなパン屋さんから始まった弊社は、パン・菓子・惣菜の製造販売、レストラン・ホテル運営、食堂・給食事業、指定管理者など幅広い業態に挑戦してまいりました。静岡市に第一号店をオープンした『治一郎』を全国に展開する一方で、『食育』を



テーマに地域に根差した経営を進めております。特に食堂・給食事業においては、小・中学生だけでなく高校生・大学生・社会人に至るまで幅広い世代への食育の重要性を日々感じております。また、健康増進や地産地消の推進、

SDGs への取り組みに関するニーズも高まりつつあります。社員食堂への健康食の導入、大学生向けの食育講座『0円カフェ』の開催、代替たんぱくとして今ひそかに話題のコオロギ食の研究開発など、地域と連携する弊社の取り組みをご紹介します。



講演：『6次産業化の現状とこれから』

静岡県立農林環境専門職大学 生産環境経営学部 教授 前田 節子 氏

「6次産業化」という言葉が紙面やメディアに登場する機会が増え、その取り組みが各方面から注目されています。昨年開学した本学では、時代を見据え、農林業経営ができる地域社会のリーダーとなれる人材の育成に力を注いでいます。栽培技術に加え、加工・流通・販売・経営に関する資質を併せ持つことが、新しい農業人に必要とされています。講演では、実践例をいくつか紹介します。6次産業化の取り組みを、「バリューチェーン・イノベーション」「成長へのターニングポイント」「経営改善にむけた取り組み」などに分類し、成功事例の共通点や特徴、あるいは問題点についても紹介します。それらの事例から6次産業化の展望について考察していきます。



【経歴】

長野県安曇野市出身。岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程修了。イネの機能性に関する研究にて博士号取得(農学)。静岡英和学院大学短期大学部を経て現職。本学開学時に着任し、「食品加工実習」「食文化論」「6次産業化実践論」などの授業を主に担当。助産師・管理栄養士としての経験から、学際的な研究も推進している。